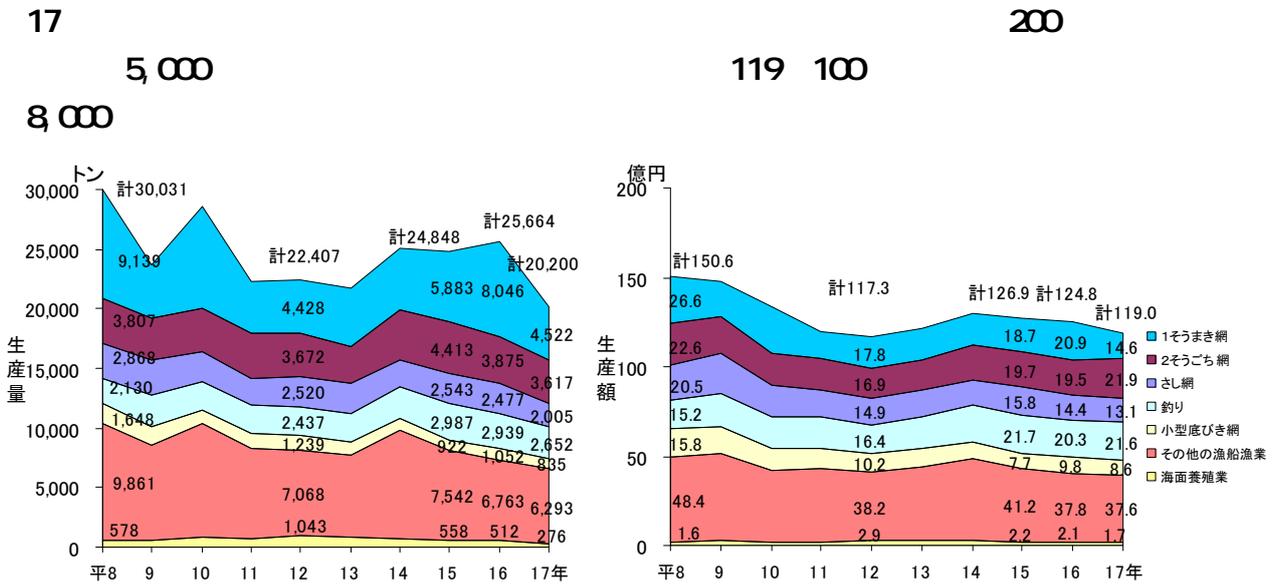


各海区の動向

IV 各海区の動向

1 筑前海区

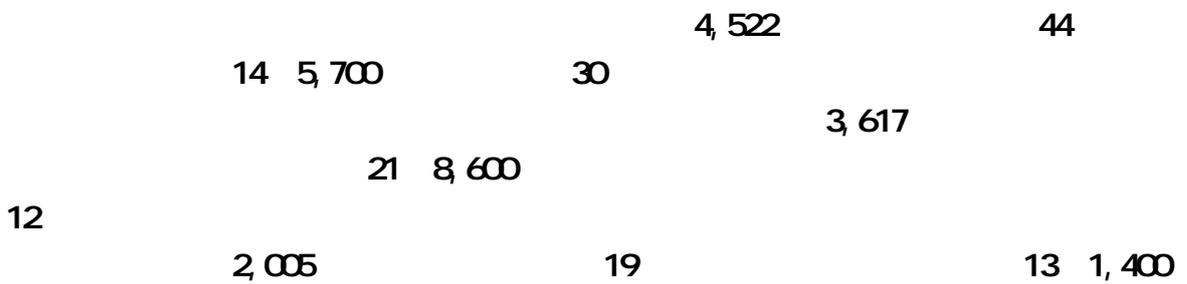
(1) 漁業生産



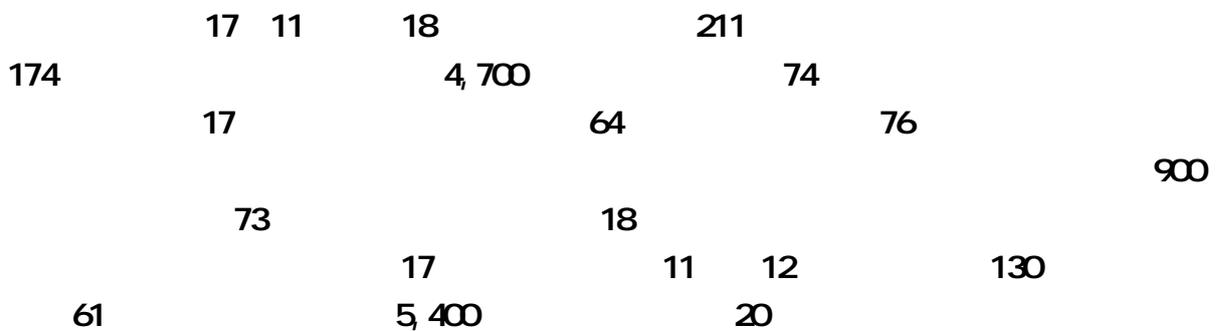
漁業種類別生産量、生産額の推移

(資料：福岡農林水産統計年報、漁政課)

■漁船漁業



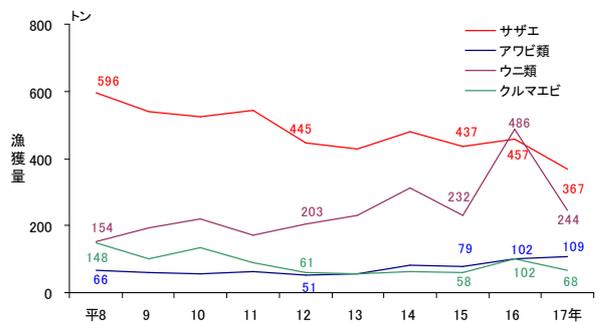
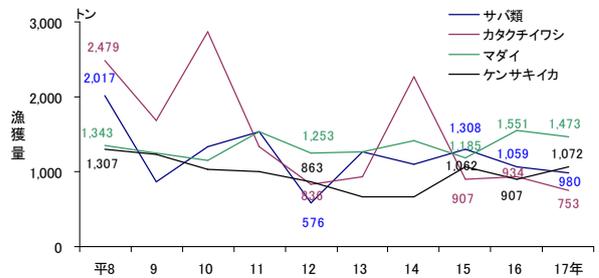
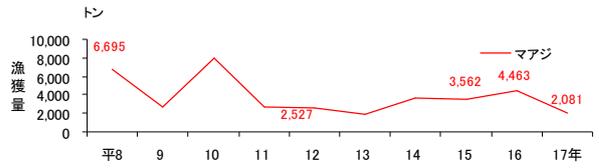
■養殖業



各海区の動向

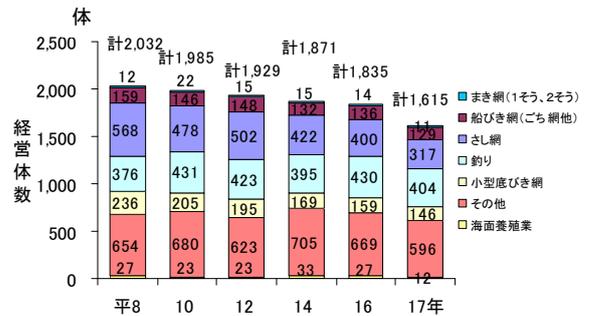
■魚種別漁獲量

2,081 53
 753
 19
 980
 1,473
 1,072
 18
 68 33
 109 100
 367 20
 244
 ■経営体数
 17 1,615
 1,603 99
 11
 129 317
 12



魚種別漁獲量の推移

(資料：福岡農林水産統計年報)

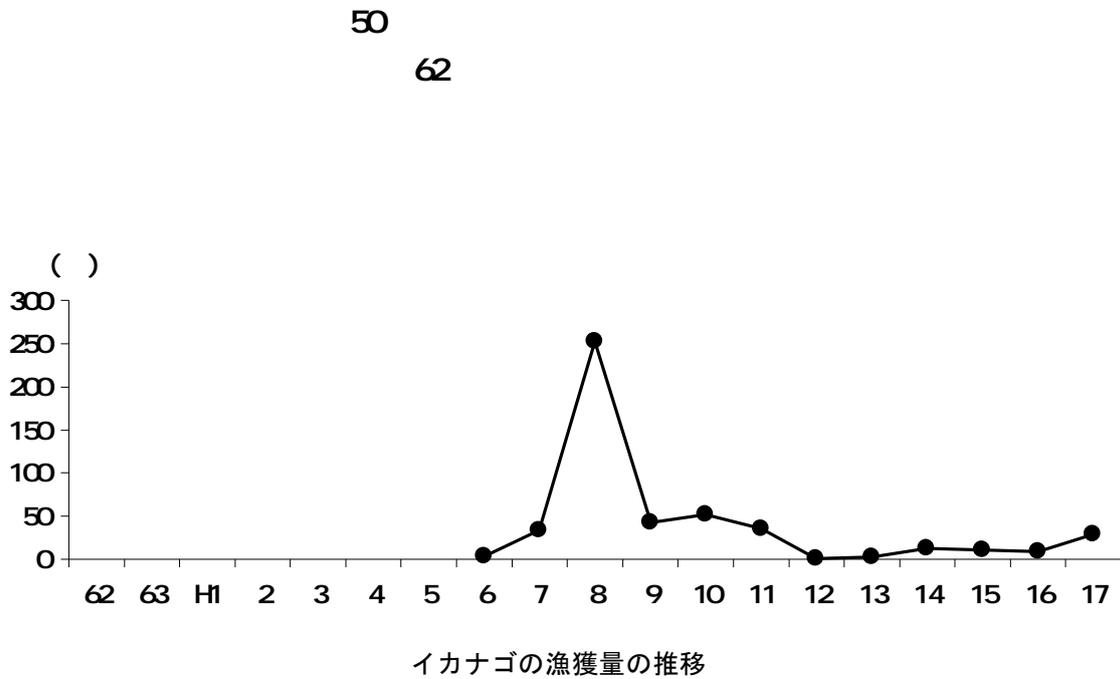


漁業種類別経営体数の推移

(資料：福岡農林水産統計年報)

各海区の動向

(2) 福岡湾口域イカナゴ資源回復計画がスタート



19 30 17



イカナゴ



房丈網の操業の様子

各海区の動向

(3) 農山漁村女性チャレンジ活動表彰優秀賞を受賞＝福吉あかもく部会の取組＝ 18



受賞した福吉あかもく部会の皆さん



福吉あかもくの加工作業の様子

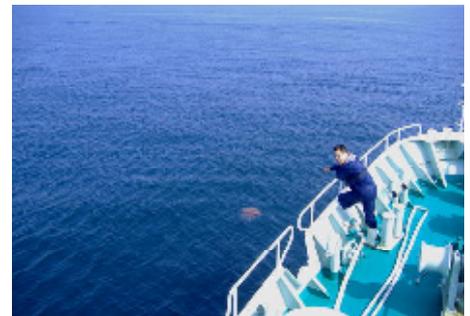
(4) 大型クラゲ(エチゼンクラゲ)の接近 1m 100kg

18 9

11



小型底びき網に入ったエチゼンクラゲ



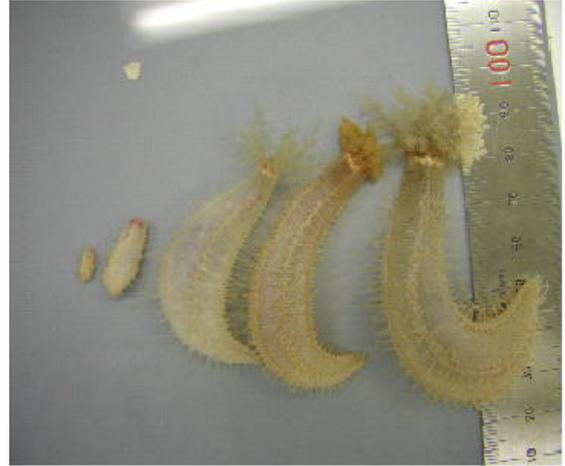
調査船による目視調査

各海区の動向

(5) 筑前海の試験研究情報＝ゴミ塩分処理技術の開発＝

■背景・目的

11



グ ミ

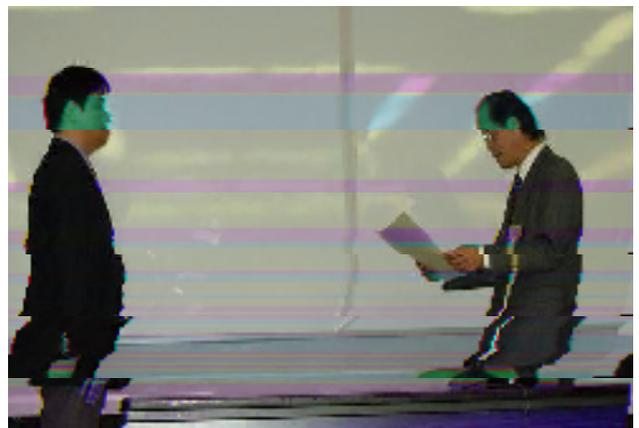
■成果の概要

13



ゴミ駆除作業の様子

18



全国水産試験場長表彰式

各海区の動向

2 有明海区

(1) 漁業生産

17

931

500

150 3,500

23

■漁船漁業

17

4,946

15

51

4,032

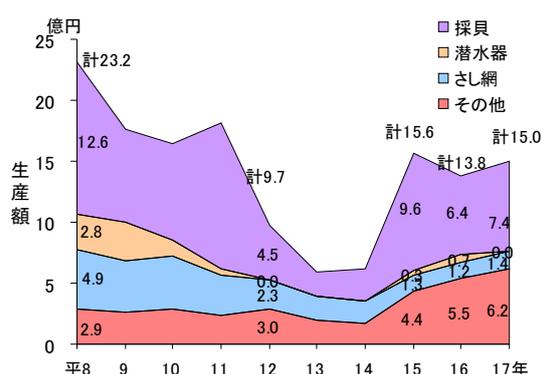
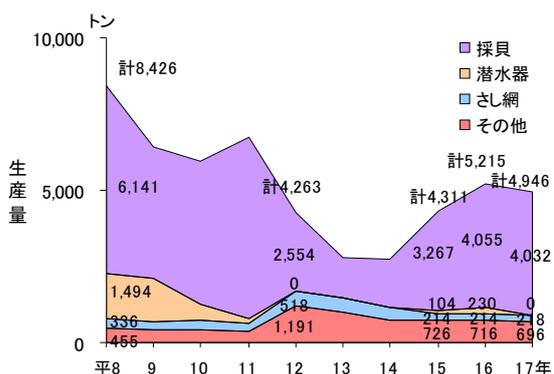
4,700

21

18

218

4,300



漁船漁業の生産量、生産額の推移

(資料：福岡農林水産統計年報、漁政課)

■養殖業

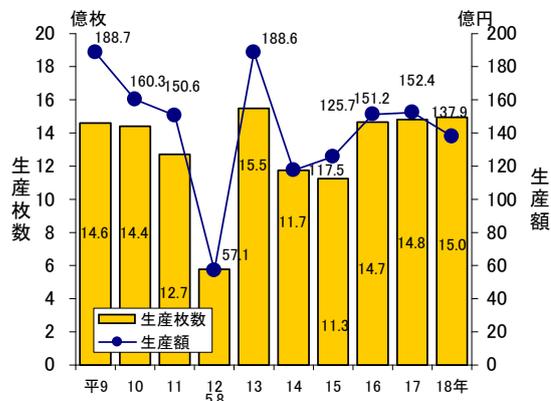
18

(18 10

19

14 9,500

137 8,800



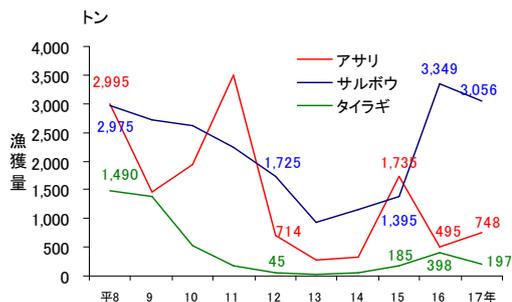
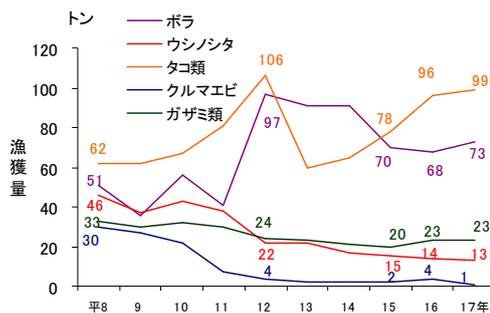
ノリの生産枚数、生産額の推移(養殖年)

(資料：水産振興課)

各海区の動向

■魚種別漁獲量

73
13
99
23
748
18
3,056
14
197
51



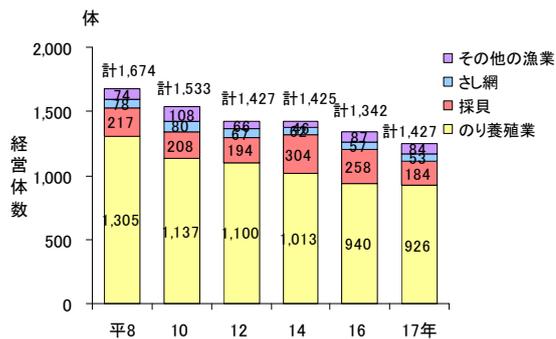
魚種別漁獲量の推移

(資料：福岡農林水産統計年報)

18

■経営体数

17
1,247
321
26
184
924
74
53



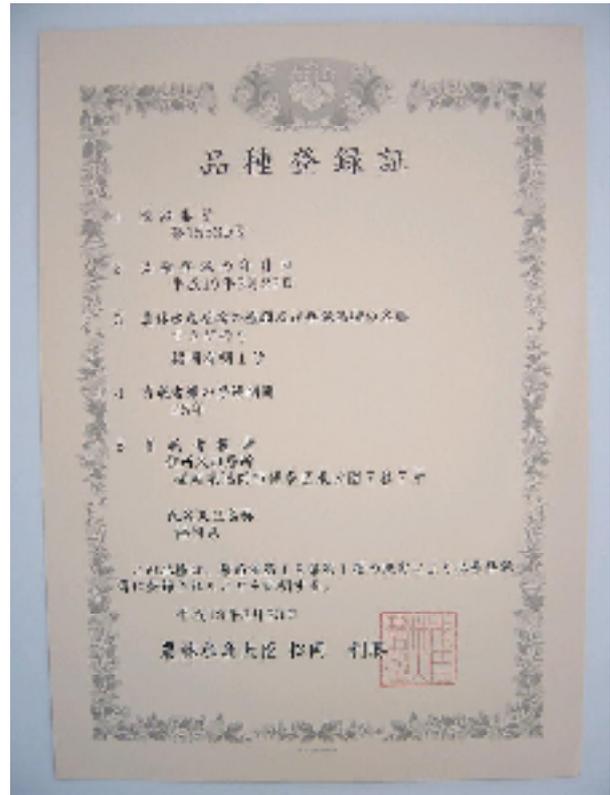
漁業種類別経営体数の推移

(資料：福岡農林水産統計年報)

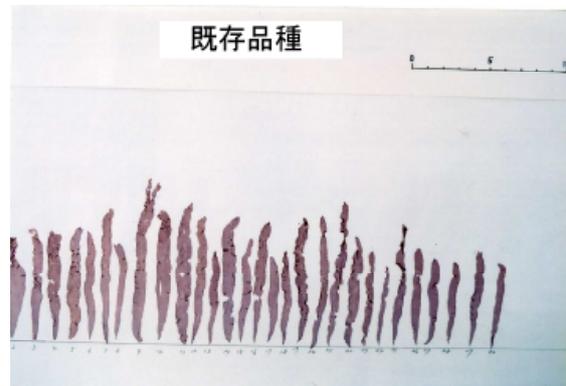
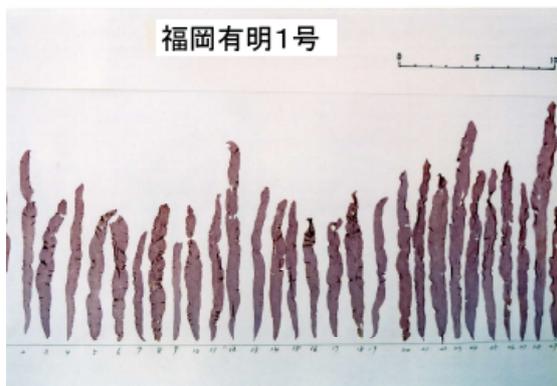
各海区の動向

(2) 全国初のノリ養殖新品種の開発に成功 =低塩分に強い養殖ノリ新品種を登録=

19 23
15530
530 15



福岡有明1号の品種登録証



低塩分漁場における野外養殖試験結果(左:福岡有明1号、右:既存品種)

各海区の動向

(3) 浅海増殖研究発表全国大会で研究奨励賞を受賞

＝有明海区ノリ研究連合会による中国ノリ漁場視察＝

18

18

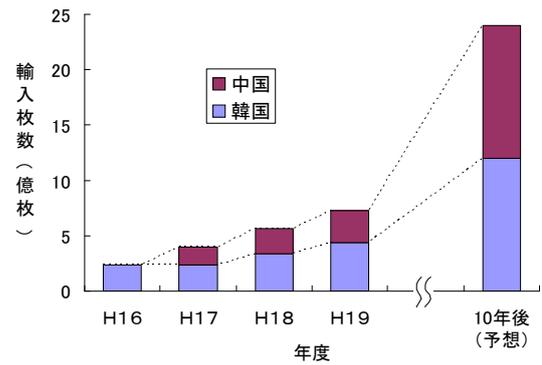


表彰式での甲斐田さん（写真右）



中国のノリ養殖場

(4)「福岡のり」の販売強化



ノリの輸入割当枚数と将来予測

■「福岡のり」のPRと自主販売



「福岡のり」のマスコットと
ロゴマーク

■モデル協業施設の整備

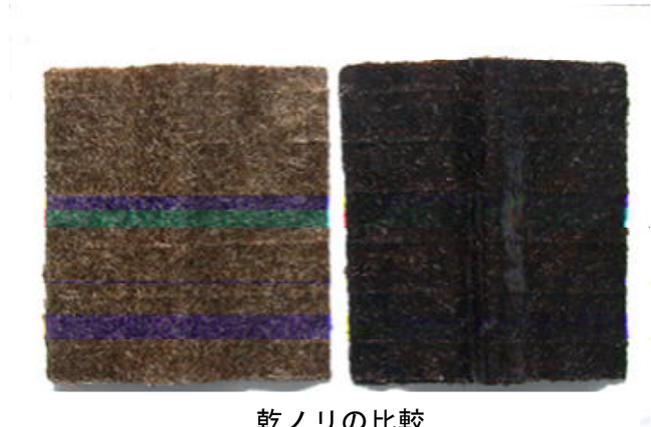
19

■今後の取り組み

各海区の動向

(5) 有明海の試験研究情報 =色落ちに強い新品種開発への第一歩=

■背景・目的

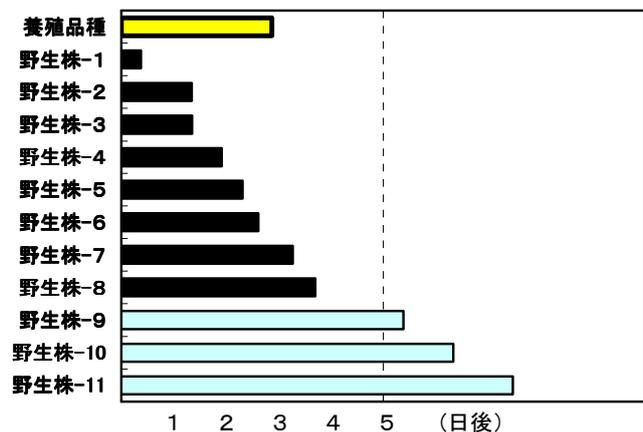


乾ノリの比較

(左：色落ちノリ、右：正常なノリ)

■成果の概要

日本各地から採集した野生の と福岡県有明海で使われている代表的な養殖品種について、栄養塩がきわめて少ない海水中で培養し、色落ちの進行程度を比較しました。



同一条件下での色落ち発生日数の比較